

3 学年の実践記録

(1) 主題に迫るための具体的な手立て

[手立て 1]

- ・ 社会科の「学校のまわりのたんけん」の単元で、まち探検をし、地形や土地利用の様子等をつかみ、大蔵のまちのよさと地理的・社会的な条件等とを関連付けた考えや特色について話し合う。
- ・ 第 2 学年での生活科の学習をもとに、まち探検で分かったこと、もっと調べてみたいことも出し合うようにし、各自が次第に調べたい課題を見付けることにつなげていく。
- ・ 社会科で「八幡東西区のまちのようす」の学習をし、大蔵と八幡東西区のまちの様子を比較し、大蔵のまちの特色をつかみ、調べたい課題が少しずつ明確になっていくようにする。

[手立て 2]

- ・ 社会科や国語科等との関連を図り、曾根にはない大蔵ならではのよさやよさとなる根拠を、課題別グループで実際にまちに出かけて地域の方にインタビューしたり、写真や資料等を活用したりして調べ、まとめていく。
- ・ 社会科の内容等と自分達が伝えたい大蔵のよさを関連付けながら調べたり、国語科で身に付けた言語活用能力を生かしながら表現したりすることができるように、そのグループに応じた指導や支援を行う。
- ・ 中間発表会で調べたことを発表し合う場面では、曾根東小学校の第 3 学年の中間発表会の作品と比べたり、よさのわけやよさが十分に伝わるかを話し合ったりする場を設定する。
- ・ 保護者の方や地域の方に発表する場面では、大蔵にはたくさんのよさがあり素敵なまちであることや、地域の人々の大蔵のまちに対する愛着の気持ちに気付くことができるようにする。

[手立て 3]

- ・ ビデオレターに添えた手紙やイラストの中に、大蔵のまちの一員としての愛着の気持ちを表現するようにし、評価に生かす。
- ・ 曾根東小学校の第 3 学年とそれぞれの作品を交流し、山がちな大蔵のまちと海や田が広がる曾根のまちの特色を比較することで、大蔵のまちのよさを再認識したり、よさをそれぞれの地域のよさとして実感的に捉えたりすることができるようにする。
- ・ 単元のまとめの段階では、個人ファイルや作品等でこれまでの学習を振り返ったり、学習を通して学んだことをカードにまとめこれまでに書いた自分のカードの内容と比較したりし、大蔵のまちに対する自分の見方や考え方の広がりや深まり、思い等の変容や自分の成長を実感できるようにするとともに、地域の一員として今後の地域とのかかわり方について考えることができるようにする。

(2) 研究の実際と考察

[手立て 1]

生活科のまち探検のファイルや生活科の写真や作品等の具体的な資料をもとに、まち探検で調べた人や場所等について分かったこと、もっと調べてみたいことを出し合った。このことで、各自が次第に調べたい課題を見付けることにつなげていけるようにした。(資料①)

さらに、本単元と同時並行的に社会科で「八幡東西区のまちのようす」の学習をし、大蔵のまち探検に行き(資料②)、大蔵のまちの様子を地図にまとめた。そして、大蔵のまちの様子と八幡東西区のまちの様子を地図や写真等で比べ、共通点や相違点を出し合った。その結果、大蔵のまちの様子や特色が明確になっていった。(資料③)

また、一人一人が大蔵のまちのよさとそのわけを付箋紙に書き、グループで整理・分類し、全員で大蔵のよさになり得るのかを話し合った。その際、よさと思うわけ、よさについて分かっていることや調べたいことを整理しながら話し合った。これらのことで、大蔵のまちの



資料①



資料②

特色＝他にはないよいところをつかみ、調べたい課題が少しずつ明確になっていくようにした。

(資料④)

その結果、児童は、大蔵のまちの様子や特色を次の6つに整理することができた。「大蔵川、景色のいいところ(牛山、勝田公園)、乳山神社と勝田神社、大蔵小学校と見守り隊、年長者が集まるところ(市民センター、サンキュードラッグ)、溝上酒造」である。

その後、社会科の「北九州市のまちのようす」の学習の発展として小倉南区に位置する曾根干潟を取り上げ、北九州カルタをする等して興味・関心を高め(資料⑤)、曾根干潟を校区に持つ曾根東小学校の第3学年へのビデオレターから交流活動へとつないだ。(資料⑥)

これらのことから、「大くらのまちのよさを調べて、曾根東小学校の友達に伝えよう。」という協同で解決する学習問題を設定した。この学習問題をもとに、「曾根東小学校の友達に伝えたい大蔵のまちのよさ」という視点で、自分が調べたい課題を明確にもてるようにした。

[手立て2]

自分の課題について調べ、まとめる際には、学び方を中心とした問題解決の方法を学んでいきながら社会科や国語科等との関連を図り、曾根にはない大蔵ならではのよさやよさとなる根拠を調べ、まとめた。課題別グループで実際にまちに出かけて地域の方にインタビューしたり、写真や資料等を活用したりして調べた。(資料⑦) 調べて分かったことや思った等は、課題別グループ内で交流し合い、整理してまとめた。(資料⑧)



資料⑦



資料⑧

その後、課題別グループで調べて分かったことや思ったこと等を様々な表現方法でまとめた。その際、社会科の内容等と自分達が伝えたい大蔵のよさを関連付けながら調べたり、国語科で身に付けた言語活用能力を生かしながら表現したりすることができるように、そのグループに応じた指導や支援を行った。

また、中間発表会で調べたことを発表し合う場面では、大蔵小学校と曾根東小学校のそれぞれの中間発表会の様子をビデオレターで交流し合った。そして、曾根東小学校の第3学年の中間発表会の作品と比べた。そして、それぞれのまちのよさや特色をもう一度、出し合って整理したり、よさのわけやよさが十分に伝わるかを話し合ったりする場を設定した。(資料⑨)



資料⑨



資料③



資料④



資料⑤



資料⑥

また、それぞれの発表の仕方のよいところや参考にしたいところ等を出し合う場を設定した。これらをふまえ、表現内容と表現方法の面から、まとめたものを見直したり、もう一度まちに出かけて調べたりするといった探究的な学習へとつなげていった。(資料⑩)



資料⑩

さらに、保護者の方や地域の方に発表する場面では、大蔵にはたくさんのよさがあり素敵なまちであることや、地域の人々の大蔵のまちに対する愛着の気持ちに気付くことができるようにした。そのために、地域の方や保護者の方にこれまでの発表に対する賞賛や大蔵のまちに対する思いを話してもらったり、これまでの発表をふまえ、大蔵のまちのよさについてカードに書いたり話し合ったりした。以下は、その時の様子と児童の発言及びカードである。(資料⑪)

子どもの活動の様子	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>T「この前まで4つのグループが発表して、それぞれのよさを話し合いましたね。今日は、最後の溝上酒造グループの発表を聞いて、大蔵のまちのよさを話し合しましょう。」</p>	<p>○ 本時は、最後の溝上酒造グループが発表し、保護者の方や地域の方から賞賛や大蔵のまちに対する思いを聞いたり、大蔵のまちのよさや特色について話し合ったりする時間であることを確認し、意欲を高め、めあてにつなぐ。</p>	
<p>めあて 友達の発表や保護者の方や地域の方の感想を聞いて、大蔵のまちのよさを話し合おう。</p>		
<p>2 最後のグループが発表したり、発表を聞いたりする。</p>  <p>C「今から、溝上酒造について調べたことを発表します・・・(中略)・・・溝上酒造は、場所、水、お米等のこだわりをもって、真心をこめてお酒づくりをしていることがじまんと思いました。将来は、溝上酒造でおいしいお酒をつくってお父さんやお母さんに飲ませてあげたいです。」</p> <p>3 保護者の方や地域の方の感想を聞く。</p> <p>保護者の方や地域の方のお話「大蔵にはいいところがいっぱいということが改めて分かったよ。よく調べたね。私達もいいところがいっぱいの大蔵が大すきだし、自慢のまちだし、宝物だよ。このことも曾根東小学校のお友達にぜひ伝えて欲しいな。自分達の自慢のまちとしてもっと大蔵のまちをす</p>	<p>○ 発表の順番や発表者が交替する時の約束などを事前に確認しておき、スムーズに進められるようにしておく。</p> <p>○ 発表する側には、事前に、調べて分かった大蔵のまちのよさや特色、考えたこと等を原稿を見ずに自分の言葉で話せるように支援しておく。聞く側には、大蔵のまちのよさや特色が曾根東小学校の友達によく伝わるかという視点で聞くことを再度おさえておく。</p>  <p>○ 保護者の方や地域の方に児童の発表に対する賞賛や大蔵のまちに対する思いを話していただく。このことで、大蔵のよさを改めて実感できるようにする。</p>	

きになって欲しいな。」

4 大蔵のまちのよさについての自分の考えをまとめる。

C (各自、ワークシートに書く。)

5 大蔵のまちのよさについて話し合う。

T 「これまでの学習を振り返って、大蔵のまちのよさを話し合ひましょう。」



C 「大蔵はすごいです。」

C 「大蔵のまちの人みんなが大蔵を好きなんだなと思いました。」

C 「大蔵は、いいまちだと思いました。」

C 「大蔵のまちが、もっと好きになりました。」

C 「大蔵のまちに生まれてよかったと思いました。」

C 「大蔵のまちには、笑顔で優しい人がいっぱいと思いました。」

C 「大蔵のまちには、チャームポイントがいっぱいあると思いました。牛山と勝田公園は景色がよくて、市民センターとサンキュードラッグは年長者の方に優しいところで、乳山神社と勝田神社は歴史があってみんなに大切にされているところで、大蔵川には生き物や植物がいっぱいあるからチャームポイントがいっぱいあると思いました。」

T 「これまでの学習を振り返って、大蔵のまちのよさがたくさん見つかりましたね。」

6 本時のまとめをし、次時のめあてをもつ。

T 「今日の学習の振り返りを言ひましょう。」

C 「大蔵のまちには、いいところがいっぱいあって、いいまちだと思いました。」

C 「曾根東小学校に大蔵のまちのよさを伝えたいです。」

T 「では、調べた大蔵のよさを曾根東小学校の友達に伝えましょうね。」

○ オルゴール曲のCDを聞きながら、保護者の方や地域の方のお話を再度整理したり、これまで児童が発表したものを再度振り返ったりする。これらのことで、これまでの学びを落ち着いた気持ちで振り返り、大蔵のまちのよさについての自分の考えをまとめることができるようにする。

○ 大蔵のまちのよさについて話し合ったり、児童の見方や考え方を板書で整理したりすることで、よさに対する捉えを明確にし、よさを実感できるようにする。

めあて
友だちの発表やおうちの方やちいきの方の感そうを聞いて、大蔵のまちのいいところを話し合おう。

わたしはいろんなチームの発表を聞いて大蔵のまちにこんなにいいところがあるはじめて知りました。大蔵のまちに生まれてよかったと思いました。みそさんがこんなに心をこめておさけを作るとはじめて知りました。大蔵のまちが大好きだから大人になって大蔵のまちにすんでみたいと思いました。わたしは大蔵のことをたくさんしらべたから大蔵のまちが前よりとても好きになりました。



○ 「大蔵のまちのよさを曾根東小学校の3年生に知ってもらいたい。」という共通の思いをおさえながら、保護者の方や地域の方にもらった感想をもとに、大蔵のまちのよさを曾根東小学校の第3学年に伝えることを確認し、次時へとつなぐ。

【考】 これまでの学習を振り返って自分の考えをまとめ、大蔵のまちへの思いを実感し、自分の言葉で表現している。(ワークシート・発言内容)

地域の方や保護者の方にこれまでの発表に対する賞賛や大蔵のまちに対する思いを話してもらったり、これまでの発表をふまえ、大蔵のまちのよさについてカードに書いたり話し合ったりしたことで、児童の発言やカードにあるように、大蔵にはたくさんのよさがあり素敵なおまちであることや、地域の人々の大蔵のまちに対する愛着の気持ちに気付くことができた。

[手立て3]

大蔵のまちのよさを曾根東小学校の第3学年に伝えるために、保護者の方や地域の方に発表した様子を課題別グループごとにビデオレターにまとめ、タイトルとイラストをつけた。また、手紙を添えたり、特別活動との関連を図り、ビデオレターのパッケージのイラストを募集したりした。これらの手紙やイラストの中に、大蔵のまちの一員としての愛着の気持ちを表現するようにし、評価に生かした。

その後、曾根東小学校の第3学年とそれぞれの作品を交流し、山がちな大蔵のまちと海や田が広がる曾根のまちの特色を比較した。このことで、大蔵のまちのよさを再認識したり、よさをそれぞれの地域のよさとして実感的に捉えたりすることができるようにした。

単元のまとめの段階では、個人ファイルや作品等でこれまでの学習を振り返ったり、学習を通して学んだことをカードにまとめこれまでに書いた自分のカードの内容と比較したりした。これらのことで、大蔵のまちに対する自分の見方や考え方の広がりや深まり、思い等の変容や自分の成長を実感できるようにするとともに、地域の一員として今後の地域とのかかわり方について考えることができた。

(3) 成果と課題

[成果]

- 社会科との関連から、曾根東小学校との交流を位置付けたことで、大蔵のまちと曾根東のまちを比較するという視点をもて、改めて大蔵のまちの様子や特色やよさに気付くことができた。また、「大蔵のまちのよさを調べて、曾根東小学校の友達に伝えよう。」という協同で解決する学習問題を設定したことで、伝えたい相手意識と単元全体の見通しを持つことができた。
- 社会科との関連や生活科と総合的な学習の時間のつながりと系統性をもたせた単元構成をしたことで、大蔵と八幡東西区のまちの様子を比較し、大蔵のまちの特色をつかみ、調べたい課題を明確にすることができた。
- 調べたことを曾根東小学校の3年生に分かりやすく伝えるために、国語科との関連を図りながら、表現内容と表現方法の工夫をしたり、互いの考え等を交流したりする場を設定したことで、学びの共有化やアドバイスのし合いができ、表現内容と表現方法に深まりが見られ、大蔵の人・もの・ことに対する見方や考え方を深めることができた。また、アンケート結果から約94%の児童が教科等の学習が総合的な学習の時間に役に立つと答え、教科関連のよさを実感することができた。
- 本単元では、ねらいに応じて、伝え合い発信する場を3回位置付けた。1回目は相手によりよく伝わるように、発表内容を見直したり調べ直したりするための中間発表会。2回目これまでの活動への満足感や成就感を味わい、大蔵のまちのよさを実感するための発表会。3回目は大蔵のまちのよさを再認識したり、よさをそれぞれの地域のよさとして実感的に捉えたりすることができるようにするための曾根東小学校へのビデオレターである。このことで、大蔵のまちに対する見方や考え方を交流することができ、互いの考えを共有したり、深めたり、自分の変容に気付いたり、価値付けたりすることができ、協同的な学びをよさを味わうことができた。
- 「生活科・総合的な学習の時間大蔵プラン」、「生活科・総合的な学習の時間の目標 育てたい資質・能力」をもとに、3学年で付けたい力を明確にした単元全体の評価規準、各学習過程の評価規準及び評価の観点を設定し、評価を行った。その際、行動観察、発言分析、ワークシート分析等の教師による学習評価、振り返りカード、ポートフォリオ等の自己評価、友達や保護者や地域の方等による他者評価を適切に組み合わせながら学習評価をした。その結果、児童の変容を多面的に見とることができた。

[課題]

- 大蔵のまちのよさをより実感することができるようにするために、人とのかかわりをもっと前面に出す必要がある。
- 調べたことを曾根東小学校の3年生に分かりやすく伝えるために、社会科や国語科等との関連を図ったが、今後は、どの場面でどのように関連させていくのか等の具体的な関連のさせ方、効果的な交流のさせ方の工夫が必要である。
- さらに、情報を整理したり思考を深めたりできるようなワークシートの工夫が必要である。
- 児童の探求意欲を70時間持続していくために、ねらいや評価規準をふまえたきめ細かく計画的な支援のあり方を工夫していく必要がある。
- 多様な評価方法を効果的に組み合わせながら学習評価をし、指導に生かしていく必要がある。
- 各教科等での力を付け、総合的な学習の時間でその力が活用できるようにしていく必要がある。